

局 施 策 評 価 票

平成 **21** 年度実施施策

A時点: -	B時点: -	C時点: 22. 7月

局名	産業経済局
-----------	--------------

基本計画	柱 人を育てる
	大項目 アジアをリードする頭脳拠点の形成
	取組みの方針 産業を支える人材の創出

担当局 / 総務担当課名	産業経済局	産業政策課
連絡先	582 - 2299	

21年度計画

-2-(2)-

施策名	地域企業の中核となる人材の育成
------------	------------------------

施策の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	地域企業の技術の高度化に向けて、企業人の教育の充実をはかり、地元企業の中核となる人材を育成します。
	その結果、実現を目指す取組みの方針名	産業を支える人材の創出

	成果指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)	現状値		計画	平成21年度		目標値	
		年度	平成21年度		年度	平成22 - 25年度		
施策の成果	中小企業向け人材育成講座の受講者数			計画	480 名	年度	平成22 - 25年度	
	戦略的思考を有するリーダーや高度技術人材の育成など企業の発展に大きな役割を担う中核人材の創出・育成するための専門講座を実施しており、その受講者数を指標として設定しました。	現状値	383人	実績	383 名	目標値	1,500人	
				達成度	79.8 %			
		年度		計画		年度		
		現状値		実績		目標値		
				達成度	%			
	年度		計画		年度			
	現状値		実績		目標値			
			達成度	%				
コスト	A時点 - B時点 - C時点 22.7月 [21年度:執行額]	事業費		5,567 千円	構成事業にかかった人件費の目安(21年度)			
		うち一般財源		5,567 千円	2,160 千円			

局施策に対する担当局の評価

局施策の評価	21年度評価	主な分析理由
	B	中小企業向け人材育成講座の受講者数について、定員の480名の定員に対し、約8割にあたる383名の受講があり、平成21年度は概ね計画を達成できました。市が開催するセミナーは、短時間かつ市内開催で参加しやすい点に特徴があり、コスト面でも魅力がありますが、各種セミナーを実施している他の機関との棲み分けを図る必要があります。
今後の局施策の方向性	成果指標は、概ね達成できており、今後も引き続き積極的な推進を図っていきます。また、他の機関が行っている事業との棲み分けを行うことでより効率的な施策運営を図ります。	

【局施策評価】 A:大変良い状況にある B:概ね良い状況にある C:概ね良い状況とまでは言えない D:不十分な状況にある

評価担当部署の意見

適切な評価 下記のとおり

目標値の考え方を示すことが必要と考えます。
次の段階では、講座の受講により地域企業の中核となる人材の育成に、どのようにつながっているかの分析がされれば、より良いと考えます。

施策名 地域企業の中核となる人材の育成

構成事業名	事業費		事業にかかった 人件費の目安 (21年度)	経費分類 裁量的経費 義務的経費 特別経費(重点) 特別経費(臨時)	今後の方向性			
	C時点[21年度:執行額]				21年度			21年度
経営リーダー育成支援事業			5,567 千円	2,160 千円	裁量的経費			ア
事業費のうち一般財源			5,567 千円					
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円					
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円					
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円					
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円					
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円					
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円					
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円					
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円					
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円					
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円					
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円					

局施策全体のコスト	21年度	
	事業費	人件費(目安)
施策全体の事業費のうち一般財源	5,567 千円	2,160 千円

局施策の
21年度評価

B

【局施策評価】
A: 大変良い状況にある
B: 概ね良い状況にある
C: 概ね良い状況とまでは言えない
D: 不十分な状況にある

【事業の今後の方向性】 ア: 事業の見直しを図ることが可能 イ: 休止・廃止を検討 ウ: 現状のまま進めることが適当 エ: 終了

事業評価票

平成21年度実施事業	新規	継続

A時点: -	B時点: -	C時点: 22.7月

担当局/課	産業経済局 中小企業振興課
連絡先	873-1433

基本計画	柱	人を育てる
	大項目	アジアをリードする頭脳拠点の形成
	取組みの方針	産業を支える人材の創出
	主要施策	地域企業の中核となる人材の育成

関連計画	
事業期間	平成16年度～
経費区分	裁量的経費

-2-(2)-

事業名	経営リーダー育成支援事業
------------	---------------------

事業の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	戦略的思考力や果敢な行動力を有する経営リーダー、社内変革推進者、高度技術を持った人材の育成など、企業の経営革新に大きな役割を担う中核人材の創出・育成を図るため、段階に応じた専門講座を実施します。			
	その結果、実現を目指す施策名と成果	施策名	地域企業の中核となる人材の育成	成果	中小企業向け人材育成講座の受講者数

目的実現の為に実施する内容 【手段】	実施工程	当初計画	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	計画変更理由			
		現状	8講座14コース、定員480名の各種セミナーを実施し、383名が受講した。	8講座14コース、定員430名の各種セミナーを実施する。	8講座14コース、定員430名の各種セミナーを実施する。	8講座14コース、定員430名の各種セミナーを実施する。	8講座14コース、定員430名の各種セミナーを実施する。		8講座14コース、定員430名の各種セミナーを実施する。		
	実施状況	成果・活動指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)						平成21年度	目標		
		受講者数						計画	480 名	年度	平成22 - 25年度
		テーマ別、階層別の研修を企画し、中小企業者の受講を促します。						実績	383 名	内容	延べ1,500人
								達成度	79.6 %	年度	
	コスト	A時点 - B時点 - C時点 22.7月 [21年度:執行額]						事業費	5,567 千円	事業にかかった人件費の目安(21年度)	
								うち一般財源	5,567 千円	2,160 千円	
	単年度計画	(この欄は斜線が入ります)									

【事業の実施結果・進捗状況の確認】	
実施結果	21年度に実施した結果、当初計画(実施工程)に対する進捗状況はどうか。 8講座14コース480名の定員に対して約8割にあたる383名の受講がありました。また、受講者アンケート結果では、講師やカリキュラム、業務への役立ち度などの項目で良好な評価を受けており、市内中小企業のニーズを概ね満たしていると考えます。

【事業の再検証】			
評価	有効性 この事業は施策の実現に対し、効果があったのか。	3	8講座14コース480名の定員に対し、約8割にあたる383名の受講があり、市内中小企業のニーズを概ね満たしています。
	経済性・効率性 同じ効果をより低いコストで得られないか、または、同じコストでより高い効果を得られないか。	4	市が実施するセミナーは、短時間、市内開催で参加しやすい点の特徴。コスト的にも安く抑えています。
	適時性 今実施しなかった場合、施策実現に対する影響はどうか。	4	現下の厳しい経済環境の中、税務・財務などの経営実学や、電気制御・機械制御などの基礎技術をできるだけ早期に学ぶことは極めて重要です。
	市の関与の必要性 実施主体として市が適切なものか、市の関与をなくすることはできないのか。	2	各種セミナーを実施している商工会議所等と企画段階で調整を行っています。
今後の方向性	評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。 ア:事業の見直しを図ることが可能 イ:休止・廃止を検討 ウ:現状のまま進めることが適当 エ:終了	ア	商工会議所等とは、テーマや階層、時期を分けるなどの調整を行いながら、効果的な研修を企画していきます。